

Acknowledgment

A part of this study had been done in the Department of Plant Pathology, University of Minnesota. The author wishes to thank Dr. J. J. Christensen, the head of the Department, for the encouragement throughout this study. Thanks are also due to the Upjohn Company, Kalamazoo, Michigan, for supplying filipin.

References

1. Ammann, A., D. Gottlieb, T. D. Brock, H. E. Carter, and G. B. Whitfield.
Filipin, an antibiotic effective against fungi.
Phytopathology, **45**: 559-563. 1955.
2. Whitfield, G.B., T. D. Brock, A. Ammann, D. Cottlieb and H. E. Carter.
Filipin, an antifungal antibiotic: isolation and properties.
Jour. Amer. Chem. Soc., **77**: 4799-4801. 1955.
3. Gottlieb, D., H. E. Carter, J. H. Sloneker, A. Ammann.
Protection of fungi against polyene antibiotics by sterols.
Science, **128**: 361. 1958.

○高等植物分布資料 (11) Materials for the distribution of vascular plants in Japan
○スキヤクジャク *Adiantum diaphanum* Bl.

熱帯シダのスキヤクジャクが壱岐に産することは外山三郎氏によって報告 (本誌 29: 326) されたが、筆者はその後さらに大小二つの群をこの島で発見した。また同教授から、平戸の大島にもあるらしいとのことを聞いていたが、機会あって去る 5 月 21 日踏査しその存在を確認することができた。そこでこれらについて概略を報告する。

壱岐の大きい方の群落は、既報の群落から数 m 離れた所にある掘り割られた水路の兩岸である。それは水面から 40~120cm の高さに密生し、北岸では 15.5m, 南岸では 17.5m にわたり帯のように長く続いて実に美事である。小さい方の群落はここから 100m ばかりの所にある人家の裏(北側)の崖である。横 3m, 高さ 0~50cm の間に雑草を混えず密生している。さらに小さい群落は附近に数個ある。

平戸の大島は平戸島の北 7km にある小さい島で、大島村という一村をなしている。群生地は海岸から約 500m はいった所の人家の裏の崖で、その環境は壱岐島のものに酷似している。横 9m, 高さ 30~50cm の間にまばらに、あるいは密に群生している。中央は崖の上から流れ落ちる水のため 2m あまり切れている。(品川鉄摩)